

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.3.5 No. 159 連絡先 FAX 042-555-1911



オスプレイ 6日から岩国拠点に本土で訓練

アンジェレラ在日米軍司令官は28日、日本外国特派員協会で記者会見し、「来週、訓練のためオスプレイを日本本土に展開させる」と表明しました。さらに、「オスプレイの訓練の大部分は部隊と装備を輸送することだ。海兵隊員を別の場所に置いたままオスプレイだけを訓練のために移動させることはできない」と指摘。オスプレイの岩国基地への展開には一定規模の部隊や装備が伴い、兵員・物資の輸送訓練を実施する

ことも示唆しました。小野寺五典防衛相は、12機のうち3機が3月6～8日、米軍岩国基地を拠点に低空飛行訓練や夜間訓練を行うと米側から連絡を受けたことを明らかにしました。

オスプレイ配備撤回、低空飛行訓練・夜間訓練ストップを！

横田基地 2月21日から3月1日 即応準備週間だった

即応準備週間の初日の21日は、C-130輸送機が6機で編隊飛行と、パラシュート投下訓練を行い、25日もC-130輸送機が4機で編隊飛行と、パラシュート投下訓練を行いました。これは、即応準備週間の一部です。

米軍横田基地のホームページに、スライドショーで写真などがアップされているので、少しですがみてみましょう。

2月26日、治安部隊の巡査が、ターゲットを、取り押さえる訓練です。→

2月27日、右の写真は、C-130輸送機の患者を受け取るように準備しています。危機の際に適切に患者をどのように処理するか教えるために開催されました。もう1枚は患者輸送の、C-130輸送機内部です。患者が何段にも重なるようにセッティングされています。

2月28日、右は、横田基地で重機パレットをC-130に積み込み中の写真と、重機パレットを東富士演習場と思われる投下ゾーンへ投下した写真。空中投下戦術のテストです。



コブラゴールドに参加した普天間基地配備の、2機のMV22オスプレイ。米海軍の強襲揚陸艦ボノム・リチャードからの発艦や着艦の訓練も行った。



3月17日 座り込み開始から丸4年

福生市フレンドシップパークで

1時30分から3時30分まで

基地問題の専門家 小泉親司さんの

お話しがあります お出かけください

横須賀米海軍病院中心に海軍横須賀と空軍横田が合同演習 (No. 159 の裏面)

2月26日、横須賀米海軍病院(USNH)中心に、大量死傷者発生想定
の海軍・空軍合同演習が行われました。(米海軍ホームページより)

空軍横田基地からUH-1ヘリコプターで4模擬患者を横須賀基地に空
輸し、USNH横須賀緊急要員は、治療のために病院に模擬患者を輸送。
この合同演習の目標は、実世界の中の死傷者より速く、より焦点を絞
った応答を可能にする2つのサービス間の協力と即応性を強化するこ
とです。(USNH横須賀は日本本土で最大の米軍の治療施設です)



F-35「三原則」例外扱い 紛争当事国へ武器輸出認める 官房長官談話

政府は3月1日、米国を中心に9カ国が共同開発中の最新鋭ステルス戦闘機F-35の製造に国内
企業が参加するにあたり、紛争当事国などへの武器輸出を禁止した「武器輸出三原則」の例外と
して製造・輸出を認める方針を決めました。F-35は周辺国との紛争を抱えているイスラエルも購
入を予定しており、憲法の平和主義に立脚する「国是」をなし崩しで破壊するものです。

談話は、「国内企業が製造した部品等がわが国以外のF-35利用国に提供されることが想定され
る」と明記し、イスラエルに渡る可能性を認めています。

一方、▽米国政府の一元的な管理の下、利用国以外への移転を制限▽移転は国連憲章の目的と
原則に従う利用国に限定一を前提に、「三原則」の例外として扱うとしています。

民主党政権下で緩和された武器の海外移転基準でさえ「目的外使用や第三国移転に事前同意を
義務付けるなど厳格な管理が前提」(2011年)としていましたが、今回の談話は管理を米国に丸
投げする内容です。

F-35については、2月14日、操縦席から煙が出る事故が東部メリーランド州の空軍基地内で起
きていたり、2月22日、米国防総省が、エンジンの回転翼に亀裂が見つかったため、原因が判明
するまでの間、51機の試作機すべての飛行を禁じたと発表しました。

また、F-35の購入・維持価格が160億ドル(約1兆3360億円)から、3倍近い450億ドルに跳
ね上がったため、カナダ政府は14日までに、全65機導入の白紙撤回を正式決定しました。これ
に対し、日本政府は2012年度に1機当たり約102億円で購入。2013年度は2機分の取得経費とし
て308億円と1.5倍に価格が高騰しましたが、計画を見直していません。

…訂正… 横田のC-130Hが ロタ島で帰還支援したのは厚木のEA-18Gグラウラー

横田基地ミニ情報No. 158で「天候悪化でロタ島に着陸した海軍のFA18の帰還支援のために、
コープノース・グアムに参加の横田のC130が給油車を運ぶ」と、書
きました。アンダーセン空軍基地公式ウェブサイトに載っていたからで
すが、「それは違う」とご指摘をうけました。このサイトの写真(左)
を見ると、帰還支援されたのは米海軍・厚木基地のEA-18Gグラウラ
ーでした。ロタ島は、民間機の燃料しかないため、横田のC-130が燃
料給油トラックをロタ島に運び、給油して、やっと帰れたそうです。



…訂正… 左の写真は北富士演習場ではなく 東富士演習場
横田基地ミニ情報 No. 155-2 に、左の写真と(前号のこの写真は北富士
演習場でした)と訂正しましたが、なんと「やはり東富士演習場」だ
ったことがわかりました。「これは北富士演習場だ」と教えてくれた物
知りの方々がいて訂正しましたが、それが違っていました。

